

めざせ なでしこジャパン 秦野さんサッカー全国合宿に参加

田中学校サッカー部の秦野風香さん（2年・室蘭アイスバーズ所属）が、昨年の12月15日から4日間静岡で開かれた「ナショナルトレセンU-15」に、北海道代表メンバーとして初参加しました。

同トレセンは、日本サッカー協会が主催して女子サッカーの優秀な選手の発掘や育成などを目的に開催。本道からは14人が選出され、東日本全体で81人が厳しい練習に耐え抜きました。

秦野さんは「まだまだ力が足りないと実感しました。来年も参加したい」と技術の向上を誓いました。



レベルの向上を誓う秦野さん

冬 金の毘羅火口を探検しようと「スノーシューをはいて雪山を探検～真冬の噴火口を見にいこう～」が、1月15日洞爺湖ビジターセンターが主催して行われました。

参加したのは、親子連れなど11人。

参加者は、スノーシュー（西洋かんじき）の使い方の説明を聞いた後、雪深い金の毘羅火口めざして出発。途中キツネ、タヌキ、ウサギなど、洞爺湖・有珠山周辺に住む動物たちの足跡などを観察しました。

一行は、夏とは違う顔を見せる冬の火口を探検しながら、新たな洞爺湖町の魅力を発見していました。



冬の金の毘羅火口を探検する参加者

スノーシューで雪山探検 冬の自然を楽しむ

1 月7日、財田自然体験ハウスで、年明けうどんをつくろうが開かれ、新年を手作りうどんて祝いました。

年明けうどんは、2009年から「紅白うどんを食べて幸せに」と香川県内の製麺団体などで組織する讃岐うどん振興協会が、「年越しそば」にあやかって実施しているものです。

当日は、同センターの鈴木利典さんの指導で、水合わせから始まって、ねかせ、きる、ゆでるまでの全工程を2時間ほどかけて行いました。

登別市から参加した親子は「いつかうどんを作ってみたかった。

念願がかないました」と楽しそうに話していました。



うどん作りを楽しむ親子づれ

縁起ものの年明けうどんづくり 財田自然体験ハウスで開催

おいしさを町民にアピール あか毛和牛町民還元セール開く

ブランド化をめざすとや湖あか毛和牛を町民にもっと知ってもらおうと「新春町民還元セール（洞爺湖地場産品協同組合・入谷商店・赤羽商店主催）」が、1月15日レストランかわなみで開かれました。



多くの町民が訪れたあか毛和牛町民還元セール

初めての一般販売で、サーロインステーキ用、すき焼き、スライスパックなど用意し、特別価格で販売しました。

オープ当初から多くの住民が訪れ、ひき肉とスライス肉などは、早々に完売。「食べたことがなかったので、どういう味が興味があった」という人もいて、まとめ買いする姿も見受けられました。